

## 平成30年度 事業報告書

定款第3条の目的である、広く県民の福祉に寄与するため、眼の衛生に関する知識の普及事業及び視力障害者の視力回復のためのアイバンク事業を行った。

### 1 会議の開催

#### (1) 理事会

開催年月日	開催場所	議 題
平成30年5月24日	ザ・ビー名古屋	1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算について 3 評議員会の開催について 4 資金運用について 5 その他
平成31年2月28日	ザ・ビー名古屋	1 2019年度（平成31年度）事業計画について 2 2019年度（平成31年度）収支予算について 3 平成30年度事業実績・収支決算（見込み）について 4 基本財産の処分について 5 あっせん手数料の改正について 6 評議員の選任について 7 評議員会の開催について 8 職員の任免について 9 その他

(2) 評議員会

開催年月日	開催場所	議 題
平成30年6月11日	ザ・ビー名古屋	1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算について 3 評議員の選任について 4 その他
平成31年3月11日	ザ・ビー名古屋	1 2019年度（平成31年度）事業計画について 2 2019年度（平成31年度）収支予算について 3 平成30年度事業実績・収支決算（見込み）について 4 基本財産の処分について 5 あっせん手数料の改正について 6 評議員の選任について 7 職員の任免について 8 その他

(3) 監事監査

開催年月日	開催場所	内 容
平成30年5月21日	愛知県アイバンク協会	平成29年度の業務及び財産の状況についての監査

#### (4) 常務理事会

開催年月日	開催場所	議 題
平成30年8月16日	愛知県アイバンク協会	1 平成30年度「目の愛護デー記念式典」について 2 会報「愛知県アイバンク」について 3 眼球摘出業務の開業医の協力について 4 その他
平成31年2月7日	愛知県アイバンク協会	1 2019年度（平成31年度）事業計画・収支予算について 2 平成30年度事業実績・収支決算（見込み）について 3 基本財産の処分について 4 あっせん手数料の改正について 5 眼球摘出における開業医の協力について 6 評議員の選任について 7 職員の任免について 8 評議員会の開催について 9 その他

## 2 賛助会員の募集

本協会の事業に対する理解と支援を得るため、賛同する会員を次のとおり募集した。

特別会員	96人	96口	2,880,000円
通常会員	385人	511口	1,574,000円

## 3 募金運動

本協会の事業に対し、広く理解を求める募金活動を行い、一般県民及び関係団体の協力を次のとおり得た。

募 金	288件	3,241,533円
寄 付 金	237件	1,402,110円

## 4 普及啓発事業

### ア 会報の発行

眼球提供登録者及びその家族の理解を深めるとともに関係機関との連携を図ることを目的として、会報「愛知県アイバンク」を発行した。

なお、61号から当協会のホームページに掲載している。

発行部数（第64号） 3,000部

ホームページへの掲載

イ リーフレット

眼球提供登録申込書（郵便はがき）付の「あなたにもできます 光の贈りもの」をライオンズクラブを始めとする各種イベント等で配布した。

ウ ポスター

県下の医療機関及びライオンズクラブ等に400部配布した。その他各種イベントでも活用した。

エ 献眼者遺族に弔電を送付

献眼者の善意に対し弔意を表し、31人に弔電を送付した。

オ ホームページを活用して、愛知県アイバンクに関する情報を提供した。

## 5 眼球提供者登録事業

### (1) 支援団体等に協力要請

ア 愛知県眼科医会主催による眼科医師関係者の各種懇談会に役員が出席し、実務全般及び募金箱の設置、その他について協力を要請した。

イ ライオンズクラブ等の会合に出席して協力要請をした。

### (2) 眼球提供登録申込の状況

区 分	年度累計	開設以来の累計	備 考
ライオンズクラブ	196人	101,941人	
一 般	49人	16,988人	
不 老 会	311人	24,076人	
計	556人	143,005人	

## 6 献眼摘出事業

### (1) 眼球提供・摘出及び斡旋

愛知県救急医療情報センター及び摘出担当病院（4大学、3病院）、開業医の協力を得て、眼球摘出並びにウェイティング医療機関に対し、次のとおり角膜の斡旋を行った。

#### ア 眼球提供者数

区 分	年度累計	開設以来の累計	備 考
ライオンズクラブ	1 人	1, 0 9 6 人	
一 般	1 7 人	1, 4 1 3 人	臓器移植ネットワークからの提供者3人を含む
不 老 会	8 9 人	3, 5 9 6 人	
計	1 0 7 人	6, 1 0 5 人	

#### イ 提供眼球数

区 分	年度累計	開設以来の累計	備 考
ライオンズクラブ	2 眼	1, 8 5 3 眼	
一 般	3 0 眼	2, 4 8 6 眼	臓器移植ネットワークからの提供眼6眼を含む
不 老 会	8 9 眼	3, 6 3 6 眼	
計	1 2 1 眼	7, 9 7 5 眼	

ウ 利用眼球数（移植）

角膜数 100眼 （開設以来からの累計 5,810眼）

強膜数 2眼 （事業開始からの累計 10眼）

（平成25年10月1日から事業開始）

エ 寄附眼数（輸入眼） 90眼 （平成6年度からの累計 2,260眼）

（2）角膜移植備品の整備について

角膜内皮グラフト作成するマイクロケラトームカッティングシステム等を名古屋大学医学部附属病院に整備した。

なお、その費用については、基本財産を取り崩しその財源とした。

（3）眼球摘出の開業医の協力について

7協力病院における摘出業務の省力をするため、12月9日（日）及び1月27日（日）に開業医に眼球摘出業務を依頼した。

なお、摘出実績は、両日ともなかった。

## 7 提供眼球の安全性確保対策

感染症の抗体検査（血液検査）の実施

名古屋医師協同組合名古屋臨床検査センターに委託 106件

## 8 アイバンク広域活動

本協会は、東海北陸地区中核アイバンクに指定（日本アイバンク協会）されているので、ブロック内7アイバンク及び中核アイバンク間の情報交換を行った。

なお、緊急移送要請及び新鮮眼あっせん情報提供については、各アイバンクが直接メーリングリストを活用し行った。

（1）広域活動連絡会

区分	開催年月日及び場所	議 題
東海 北陸	平成30年7月27日 国際フォーラム (東京)	第62回東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会 1 アイバンク事業のイメージカラーについて 2 角膜移植における提供者（ドナー）適応基準について 3 アイバンク月報について 4 あっせん手数料の変更について

東海 北陸	平成31年2月22日 アオッサ (福井)	第63回東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会 アイバンク活動の現状と今日的課題
全国	平成30年7月27日 国際フォーラム (東京)	第41回全国アイバンク連絡会議 1 アイバンク広域活動地区別連絡会会議報告 2 あっせん手数料について 3 輸入角膜アンケート結果について

(2) 移植手術待機患者数 (平成31年3月31日現在)

全国 1,613人

愛知県 175人

## 9 眼衛生事業

目の愛護デー記念式典及び中央講演会を愛知県眼科医会と共催で実施した。

### (1) 目の愛護デー記念式典

とき 平成30年10月9日 午後2時

ところ 愛知県医師会館 8階 会議室

〈内容〉

(ア) 厚生労働大臣感謝状を寺崎浩子理事長から伝達

124名 (平成29年9月から30年8月までの献眼者)

(イ) 献花

遺族、来賓、主催者等 59名

### (2) 中央講演会

とき 平成30年10月9日 午後3時

ところ 中日パレス クラウンホール

〈内容〉

(ア) 講演

「眼のアレルギー疾患」

講師 藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院 眼科 平野耕治氏

(イ) 参加者 148名

10 その他（対外活動）

開催月日	行事・会議等	場 所
平成30年4月25日	1R・7R・9Rライオンズクラブ主催 「献眼・献腎合同慰霊祭」に参列	平和公園
平成30年4月26日	愛知県補助金監査	本会事務局
平成30年5月18日	不老会主催「献体者顕彰式並びに御名札 納式」に参列	平和公園
平成30年7月27日	東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会 及び全国アイバンク連絡協議会に出席	国際フォーラム (東京)
平成30年7月28日	アイバンクワークショップセミナー (台風の影響で中止)	国際フォーラム (東京)
平成30年10月2日	不老会の集いに出席	日本特殊陶業 市民会館
平成30年11月7日	不老会理事長対談	名古屋大学医学部附 属病院
平成31年1月15日	東海眼鏡協議会新春互礼会に出席 寄付金受領	東京第一ホテル錦
平成31年1月21日	不老会主催「新春初顔合わせ会」に出席	熱田神宮
平成31年1月26日	アイバンクワークショップセミナーに出 席	日本大学医学部臨床 講堂(東京)
平成31年2月22日	東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会 に出席	アオッサ (福井)